

Q (仮称)町道西古泉筒井線計画の現状は

A ルートを見直し、住民の了承を得て実施する



稲田 輝宏 議員

新ルート予定地付近



高架部は安全な避難場所になるのでは



指定管理になる文化センター



答 産業建設部長
計画道路は町道筒井徳丸線から松前公園への避難路や周辺の交通渋滞の緩和などが目的だ。ルートは見直して、町道筒井徳丸線から南進し

町道西48号線との交差点の信号機設置は、今後、時期を捉えて県公安委員会に要望する。

答 産業建設部長

25年度に住民説明会を行い、了承を得て詳細設計及び用地測量を実施する。

問 防災や交通渋滞緩和対策でもあり、地元への説明会の開催を。

フィット前交差点まで、延長700m、幅員構成は片側として、車道3m・自転車道1.5m・植樹帯1m・歩道2mで全幅15mだ。

問 戸別受信機の配布と避難場所の指定

① 災害弱者の居る施設に災害用戸別受信機の配布を。

② 町道筒井徳丸線高架部は津波浸水・災害時の避難場所に最適だが、その指定の考えは。

答 要望があれば検副町長

① 学校・保育園・福祉施設など公共施設では23ヶ所に設置しているが、民間の福祉施設や病院などは設置していない。要望があれば検討する。

② 町道筒井徳丸線高架部については標高11m、耐震基準も満たしており、緊急避難場所としては利用可能である。自主防災組織と協議して周知していく。

問 指定管理者制度における現場研修と地元雇用率は

4月1日からの松前総合文化センターや松前公園・多目的広場などの指定管理者制度における現場研修と地元雇用率は。

答 現在実施中 教育長

館長及び担当者を社内で研修し、年度末から町にて引継ぎや準備を行うため、実務指導研修に入る。また、地元雇用率は82・3%である。